

点耳薬・点鼻薬の 上手な使い方



執筆：高橋優二（井上病院総合内科） 宗 謙次（北九州総合病院耳鼻咽喉・頭頸部外科）

本コンテンツはハイブリッド版です。PDF だけでなくスマホ等でも読みやすい HTML 版も併せてご利用いただけます。

▶HTML 版のご利用に当たっては、PDF データダウンロード後に弊社よりメールにてお知らせするシリアルナンバーが必要です。

▶シリアルナンバー付きのメールはご購入から 3 営業日以内にお送り致します。

▶弊社サイトでの無料会員登録後、シリアルナンバーを入力することで HTML 版をご利用いただけます。登録手続きの詳細は <https://www.jmedj.co.jp/page/resistration01/> をご参照ください。

▶登録手続

Introduction p1

I 点耳薬

1. 点耳薬の対象疾患 p3

2. 点耳薬の種類 p4

3. 点耳薬の用法 p5

II 点鼻薬

1. 点鼻薬の対象疾患 p7

2. 点鼻薬の種類 p7

3. 点鼻薬の用法 p8

4. 点鼻薬使用に関する注意点 p11



▶HTML 版を読む

日本医事新報社では、Web オリジナルコンテンツ
を制作・販売しています。

▶Webコンテンツ一覧

Introduction

I 点耳薬

1. 点耳薬の対象疾患

- ・耳漏がある患者
- ・耳垢が取れない患者

注意！ 鼓膜穿孔のない急性中耳炎の場合は効果なし

2. 点耳薬の種類

- ①抗菌薬
- ②ステロイド薬
- ③耳垢水

3. 点耳薬の用法

- (1) 人肌程度に温めて使用する
- (2) 点耳の実際
 - ・側臥位とし、患耳を上にして滴下する
 - ・耳介を後方に牽引し外耳道をまっすぐにして点耳する
 - ・(鼓膜穿孔がある中耳病変の場合) 耳珠を圧迫しパンピングを行う
 - ・そのままの体勢で10分程度耳浴
 - (耳漏で鼓膜の観察ができない場合は、耳洗浄が有効)

Ⅱ 点鼻薬

1. 点鼻薬の対象疾患

- ・アレルギー性鼻炎
- ・嗅覚障害

2. 点鼻薬の種類

- ①ステロイド薬
- ②抗ヒスタミン薬
- ③ケミカルメディエーター遊離抑制薬
- ④血管収縮薬

3. 点鼻薬の使用法

- ・アレルギー性鼻炎において鼻噴霧用ステロイドの効果は高い
- ・鼻噴霧用ステロイドは、花粉症の場合、初期療法として使用できる
- ・点鼻用血管収縮薬の使用は最小限とする

4. 点鼻薬使用に関する注意点

- (1) 血管収縮薬：薬剤性鼻炎に注意
- (2) ステロイド薬：安全性が高いが、漫然とした長期間使用は避ける

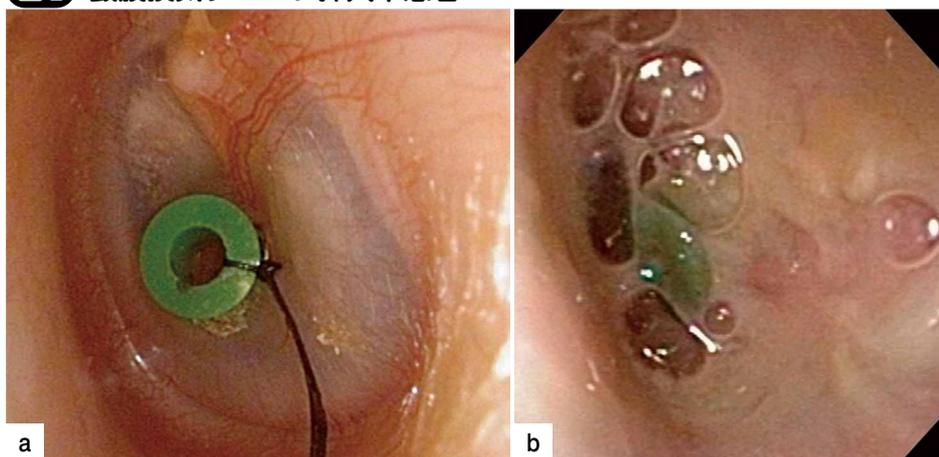
I 点耳薬

1. 点耳薬の対象疾患

一般に、点耳薬の対象疾患としては、外耳道炎、鼓膜穿孔のある急性中耳炎、鼓膜換気チューブ挿入中の患者の耳漏(図1)、慢性穿孔性中耳炎の急性増悪(図2)、外耳道湿疹、耳垢塞栓等がある。本特集の読者層が主にプライマリ・ケア医ということであれば、想定される設定としては、当直中の救急患者、入院患者、施設入所中の往診患者で耳漏がある、または耳垢が取れないというときに点耳薬の使用を考慮すると思われる。ここで強調したいのは、鼓膜穿孔のない急性中耳炎の場合、点耳薬を用いても中耳腔に薬剤が到達しないため効果は望めないということである。

なお、「小児急性中耳炎診療ガイドライン」では、鼓膜換気チューブなどで中耳内に点耳薬が十分投与・到達可能な症例への使用を推奨する¹⁾となっている。

図1 鼓膜換気チューブ挿入中患者



a: 耳漏なし
b: 耳漏あり
注: a, b別の症例
(梅木耳鼻咽喉科院長
梅木 寛先生より提供)